生命・医療倫理学　(Life and Medical Ethics)

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
三好 陽子、日比 千恵	1年次 前 期	必修	2	30	講義	あり	巻末掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	生命・医療倫理の歴史的背景を学び、生命・医療倫理の必要性・重要性について理解を深める。また複雑かつ多様な医療場面における倫理的問題・課題の明確化、調整・解決への対処能力を培うことを目的に、生命・医療倫理を探求する上で基盤となる諸理論や諸概念、様々な倫理的意思決定の方法論、活用方法等について学修し、事例分析を通して、医療の各専門分野で起こる可能性が高い倫理的課題への対応を探求する。授業は実務家教員が進める（三好、日比）。 課題に対するフィードバック方法／レポートに対して討論するほかコメントをつけて返却する。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査学の高度な知識と研究手法を体得し、臨床検査の質向上に向けた研究を遂行することができる。」及び②「専門職業人として医療に対する幅広い知識と技能を駆使し、高度な臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1.生命・医療倫理の歴史的変遷の理解を踏まえ、生命・医療倫理の必要性・重要性について考えを述べることができる。 2.生命・医療倫理の基盤となる諸理論や諸概念について概説できる。 3.倫理的問題の概要と倫理的意思決定のためのアプローチの方法論を活用し、臨床で遭遇する倫理的問題・課題やジレンマ（事例）について討議することができる。 4.臨床の研究活動における研究倫理（倫理的配慮）の必要性と研究者の基本的責務について説明できる。 5.臨床における倫理的問題・課題の明確化、調整・解決への対処能力を培うことの意味、重要性を再考し、　医療者として倫理的責任を果たすための自己の課題を考察し発言することができる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	第1回～第15回事前学習：事前に計画されている単元について予習を行っておく／参考書を自選の上購入し、その関連部分をあらかじめ読んでおくこと（各30分） 第1回～第15回事後学習：講義内容で不明な点は、講義終了直後もしくはオフィスアワーを利用して質問するなどして明確にするよう努める／課題は資料の提出の他にプレゼンテーションの準備も行うこと。（各30分）
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位15回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位15回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第1～2回	倫理とは 生命・医療倫理の基盤となる理論・諸概念とその特徴：義務論、目的論、功利主義、徳の倫理など	三好陽子
	第3～5回	生命倫理・医療倫理の歴史的変遷（課題発表）	三好陽子
	第6～7回	医療場面における倫理的諸問題（認知症高齢者、周産期・遺伝・不妊） 臨床場面で直面する倫理的問題と意思決定ための方法論:サラ・T、トンプソン等の各モデルの特徴 原則論・手順論、物語論 サラ・T 理論の活用 トンプソンなど、各モデルの活用	三好陽子、日比千恵
	第8～9回	生命・医療倫理の諸問題（具体的事例の動画視聴） （妊娠中絶・出生前診断、脳死と臓器移植、終末期医療と安楽死など）	三好陽子、日比千恵
	第10～11回	生命倫理の諸問題に対する倫理コンサルテーション：臨床で遭遇する倫理的問題・課題やジレンマなど、課題に対する倫理的諸問題の解決に向けて検討する（課題発表）	三好陽子、日比千恵
	第12～13回	臨床研究の実践における倫理的配慮 研究対象者の権利・安全の確保、インフォームドコンセントを「臨床研究における倫理的指針」「看護研究のための倫理のガイドライン」（ICN）等に基づき理解する さまざまな研究分野における倫理的配慮の特徴□	三好陽子、日比千恵
	第14～15回	課題発表とまとめ:医療者として取り組むべき倫理的課題	三好陽子、日比千恵

評価方法 評価基準	プレゼンテーション・レポート（80%）、授業参加態度（20%）などを合わせて総合的に評価する。
教科書	適宜,資料を配布する。
参考書等	・サラ T ・フライ, 片田範子 他訳：看護実践の倫理,第 3 版,　日本看護協会出版会,2010. ・ジョイス･E.トンプソン他,ケイコイマイ･キシ他訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ,　日本看護協会出版会,2010. ・宮坂道夫：医療倫理学の方法,第 3 版,医学書院,2016. ・石垣靖子他：臨床倫理ベーシックレッスン―身近な事例から倫理的問題を学ぶ, 日本看護協会出版会,2012. ・鶴若麻理, 麻原きよみ,ナラティヴでみる看護倫理,南江堂,2013. ・宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任―事例検討から学ぶ,中央法規出版, 2014.
学生への メッセージ	生命・医療倫理学は医療の根幹を成すものです。医療従事者として、インフォームドコンセントの必要性や、臨床の場での重要性を考えよく学修してください。